

# からしだね

## 第二十六号

### みんなで看取る

### S様の尊い「いのち・死」

統括施設長 土田 成子

二十日余りを残し102歳となられるはずだったS様は、平成27年12月3日の早朝、家族に見守られながら静かに息を引き取られました。

公益事業マナの家がホームホスピスとして看取り介護を新設し初めての出来事でした。

ご本人が最期まで自分らしく安らかな最期を迎えられるように職員とご家族が協働し主治医と連携しながら試行錯誤の毎日でした。

朝起き、リビングにお連れするとニコニコしながら皆におじぎによる朝の挨拶で1日が始まり、とびつきの笑顔で「いらつしやい」とおっしゃっているかのように両手を広げて皆を迎えて下さる心の広いS様に、働く喜びと元気を頂いた毎日でした。また、生まれ育った故郷は花巻で、あの宮沢賢治と同郷で縁もあるというお話に、職員一同、すごい歴史を感じさせても頂きました。

そのようなS様でしたが、秋頃から徐々に食欲が低下し口から食べる量が減ってきていました。それと同時に体力も弱られ、ウトウトされる時間が多くなり11月下旬にはほとんど横になって休んでいるようになりました。そこで、ご家族は昼夜問わず10日以上も付き添われ介護されました。そして、毎年お誕生日には娘さん手作りのオレンジ

ケーキでお祝いをされていたとのことですが、今年は1ヶ月早く、娘さん手作りの誕生日のオレンジケーキを召し上がりながら穏やかな最期の時間を過ごされました。美味しいものを食べるのが大好きなS様にとって、なにより娘さんからのプレゼントだったことでしょう。

最期にマナの家の仲間と職員でのお別れ会では、讃美歌の流れのなかで、お一人おひとりがお花をお供えしS様を偲びました。

後日、S様の娘さんからご丁寧なお手紙を頂きました。お手紙から職員一同、ご家族に満足して頂いたことに「介護の仕事をしていて良かった」と心から思えたとともに看取り介護へのはげみとなりました。きつとS様も天国から両手を広げ私たちを見守ってくださっていることでしょう。



公益事業・マナの家(ホームホスピス)  
恩師と共に 祈りと讃美の生活を

理事長 山崎 ハコネ

この春、看護学校の恩師から一通の手紙を受け取りました。そこには、「最期をマナの家で暮らしたい。最期までキリスト者として礼拝をささげて生きていきたい」という心からの求めと祈りのことばでつぶられていました。

早速、恩師の病室を訪ね、その想いを確認させていただいた上で、ご家族とご相談させていただきました。ご家族も「本人の意思を尊重する」と言ってくださり、5月末日、マナの家の入居が実現いたしました。まことに聖書のみことばどおり「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。」

(マタイによる福音書7章7節)  
道が開かれていきました。恩師を迎えに行った友は看護学校時代の同級生であり、今、一緒に法人運営に携わっていることも神様の御計らいによるものと信じ、大いなる恵みに感謝しています。

6月7日の日曜日、キリスト者である恩師は、午後3時から、ひとり静かにさんび夕礼拝の場所であるみんなの家(エクレシヤ)におられました。さんび夕礼拝は、午後5時からの開始ですが、神さまに向かう恩師の信仰者としてのすがたをそこに見、この不思議な導きを覚え、み名を讃美いたしました。そして、マナの家がもうひとつの望む「わが家、わが生活」の場所としての、「生きる場所」を用意していくことができるように、ご本人、ご家族、全職員、そして地域医療、地域住民と一緒に創っていききたいと思えます。

# グルーブホームからし種の家

## 初めての紙芝居

語り部 樋熊 かほる

からし種の家のお楽しみ会には、何回かご招待いただき、皆様と楽しませていただいております。今回は、中村会長さんのお話で、初めて紙芝居で参加させていただきました。紙芝居をするのは、何しろ初めてなので、参加してくださる有志の皆様と、どうしたら皆様とご一緒に楽しむことができるか考えました。

当日は、幸いにも演じてくださる皆様のとて初めてとは思えない個性豊かな表現力のおかげで、終わって、大きな拍手をいただいた時には、皆様楽しんで

くださったのだと、心からほっといたしました。このような機会を作ってくくださったからし種のスタッフの

### 毎年恒例 地域のお楽しみ会 ～輪が広がって～



皆様、そして中村会長さんに感謝し、またの機会に皆様とご一緒に、楽しいひとときが持てますよう、喜んでいただけますよう努力いたしたいと心からそう思っております。有難うございました。

### お楽しみ会に参加して

フレッシュユミント 一同

皆様と楽しい時間を共有でき、大変うれしく思っています。フレッシュユミントは毎年二回ほど参加させていただいておりますが、今回、あらためて歌ってすばらしいと実感いたしました。



次回もまた皆様楽しんでもらえるように努力してまいります。なつかしい歌、素晴らしい歌をまたみんなで歌いましょう。

### 初夏のお楽しみ会

介護職員 佐藤敏子

からし種の家では恒例行事の一つであるお楽しみ会が、六月二十六日、地域の皆様をお迎えし、開催されました。

当日は寺尾マジック様によるマジック、ご近所の皆様による紙芝居、フレッシュユミント様によるコーラスがあり、とても心待ちにして午後を迎え一時三十分開始となりました。

マジックが始まると、「あれ」「え〜」など不思議な空間が広がり、目を離せないあつという間のすばらしいひとときでした。利用者様は目をぱつと開け、見入っている姿が印象的でした。

続いて紙芝居が始まり、優しい語り口調で聞きやすく、チームワークの良さ、温かさに心が和み感動し、穏やかな気持ちになりました。

フレッシュユミント様によるコーラスが始まり、一緒に口ずさみ、体を揺すって拍手をされる利用者様の姿があり、「いいね」と笑顔で話される様子がうれしくとても充実した時間となりました。

からし種の家では、日々の暮らしを大切に活動し、支援を行っております。充実した一日は利用者様、職員にとっても共に大きな活力となりました。地域の皆様と交流の場も設けることができ、有り難い時間となりました。おいでいただいた皆様にご心より感謝申し上げます。



## 2015年度からし種の会後援会 資金収支計算書

## 2015年度からし種の会後援会 財産目録 2016.3.31

単位：円

大科目	中科目	金額	資産・負債の内訳	金額
I 収入の部	寄附金等収入合計 A	828,458	資産合計 (郵便貯金)	59,682
II 支出の部	経費支出	87,696	負債合計 (借入金)	13,600,000
III 借入金元金償還支出	借入金元金償還支出	800,000	差引純資産	△13,540,318
当期支出合計 B		887,696		
当期収支差額 C (A-B)		△59,238		
前期繰越資金 D		118,920		
次期繰越資金 E (C+D)		59,682		

からし種の会後援会 (賛助会費、維持会費、自由献金等) 2015年10月～2016年7月				からし種の会法人への献金 2015年10月～2016年7月			
			単位：円 (敬称略)	匿名	10,000		
				貝塚 夕紀代	5,000		
				神保 みゆき	6,000		
				加藤 楽子	5,000		
野島 廣一郎	5,000	武井 一枝	3,000	古川 久子	3,000	坪川 時子	30,000
加藤 正衛	5,000	重島 高美	2,000	貴田 陽一	10,000	並木 浩一	20,000
北垣 宗治	5,000	青木 範雄	10,000	富井 良子	2,000	中俣 正美	20,000
林 浄子	3,000	相浦 めぐみ	5,000	五十嵐 信行	5,000	山田昌人・光子	30,000
遠藤 真一	8,000	薩摩 雅宏	15,000	篠崎 薫	3,000	松井 朝子	50,000
久保 和子	5,000	新発田教会	10,000	倉井 良子	5,000	関本 道章	50,000
並木 浩一	5,000	大岩 治子	5,000	鶴沼 裕子	30,000	山北宣久・千世	10,000
松崎 博司	10,000	新津教会	1,000	馬場俊彦・優子	30,000	長谷川 静子	5,000
匿名	3,000	新潟信濃町教会	10,000	(株)ネイグル新潟	10,000	馬場 俊彦	60,000
山岡 清二	10,000	新丸子教会	3,000	一色 登久	3,000	森 数美・たづ子	20,000
福島 三郎	10,000	東中通教会	3,000	山北宣久・千世	20,000	富山 雪江	30,000
富岡 元子	5,000	佐渡教会	3,000	村上教会	5,000	佐久間 サト	300,000
柴野 修三・三知	10,000	高田教会	3,000	新丸子教会婦人会	3,000	幸田 良子	100,000
吉崎 恵子	5,000	新潟教会	10,000	久保田 詠子	3,000	匿名	200,000
丹後 源太郎	3,000	東新潟教会	3,000	才川 ミサ	10,000	匿名	5,000,000
小淵 康而	10,000	小池 由佳	12,000	大橋 謙策	3,000	山崎 ハコネ	300,000
青山学院初等部	30,000	一柳茂樹・民恵	20,000	小野敏夫・久恵	10,000		
稲毛 秀実	10,000	横山 豊治	3,000	聖ヶ丘教会婦人会	30,000		
村松 ひろみ	10,000	北尾 隆昭	5,000	守下 義之	10,000		
青木 脩	5,000	高橋 和彦・華枝	3,000	黒崎 浩	5,000		
新潟地球村教会	10,000	市村 秀子	3,000	藤森 恵美子	5,000		
(株)コムプラスビズ	10,000	倉本 武治	10,000				
匿名	1,000	笹川 トシ	50,000				
聖ヶ丘教会	120,000	中西 康之	10,000				
匿名	3,000	高見 優	5,000	合計	739,000	合計	6,225,000

いつもお支えをありがとうございます。献金・ご寄附をいただく口座

## ① 後援会の口座

郵便振替口座 払込取扱票で入金の場合  
(同封のもの)

口座番号：00540-7-59997

加入者名：社会福祉法人 からし種の会後援会

## ② 法人の場合

第四銀行小針支店 普通預金

口座番号：1311450

名義：社会福祉法人 からし種の会



※所得税控除、当法人が行う社会福祉事業のために②の法人の口座に献金していただくと、所得税法第78条第2項第3号及び法人税法第37条第1項及び第4項に該当し、税金が控除されます。こちらから発行する領収書が変わりますので、ご理解ください。

たまり場「みんなの家マナ」

毎週月曜日に開催している「たまり場」では、新しい方にも来ていただこうとイベントを企画し、頑張っています。お年寄りから子どもたちまで、誰でもゆったりと楽しく交流が楽しめる場所になればと、毎週の活動を続けています。

☆たまり場、活動の1冊を是非読んでください☆

6/27「ベビーダンス」

若林鮎美先生をお招きしてベビーダンスのレッスンを行いました。6組の親子が参加ママと一緒にゆらゆらして、ベビーちゃんたちニコニコ



6/6コンサート「天上の音楽」

今年も日比野ご夫妻をお招きしてコンサートを開催できました。お年寄りから子どもたちまで多世代が集りました。



玄関の山ぶどうの木です。ボランティアの方が、棚を作って下さいました。黄緑色の実がたくさんついています。秋の収穫が楽しみです♪

「いちごの収穫」

庭の端に畝をつくり、いちご、じゃがいも、さやえんどうを植えました。この日は、赤くなっただいごをこどもたちが大事に収穫です。



7/9「おやこでランチ作り」

笠原麻里さんを講師に迎え「花の飾り巻き寿司」を教してもらいました。切り口がきれいなお花になって感動！

「たまり場」は、毎週月曜日 10:00より開催しています。参加費 200 円・昼食代 300 円です。どなたでも参加できます。興味のある方、1度のぞいてみてください。お待ちしております。一時間 500 円から預かりもしています。赤ちゃんからどなたでも対象です。お気軽にお問い合わせください。日々の様子をブログで更新しています↓「マナとからしだねの blog」<http://karashidanenokai.blog.jp/>

地域のお母様たちが作ってくださる昼食！この日は栄養満点の冷やしそうめんでした。いつも季節や気候に合ったおいしい昼食を用意して下さいます。



「オーニング」

4月には、ウッドデッキに念願のオーニングが付きまして。テーブルをだしてお茶をしたり、夏のプールあそびでも活躍しようです

# グループホーム マナの家

## 西有明町第一自治会の避難訓練

自治会長 村井 良次

自治会の防災訓練は、有明地区自主防災会の防災訓練と一緒に参加しています。今年は九月二十四日(土)の予定です。

災害は、地震(津波も)、河川による水害、大きな火事、原発事故等がありますが、有明地区には、川が無いため水害訓練はしていません。

大津波が予想される大地震の時には、大規模な火事、原発事故も心配されます。福島原発事故で五十〜六十キロメートル離れている飯館村で全村避難が続いています。しかし訓練については、今まで原発は入れていません。

大地震の大津波予想については、新潟県が国の指導を受けて調査し公表しました。それによると青山海岸、最大約六メートルで、海岸道路が被る位となっています。西有明町第一自治会の海抜は、九メートル〜十二メートル位です。東日本大震災では、「想定外」の津波で多くの犠牲者が出ました。

訓練としては、大地震時でも慌てないで何よりも身を守りながら「外に出る」、そして高い方へ行く。心配は火事です。神戸の地震の時、死者の多くは火事に巻き込まれました。火事の情報は、家から外に出て眺め、話を聞いて判断しないとだめです。

第一に自分を守るものは、自分そして家族です。まさかの時の減災には、年一回の訓練も含め、日頃の努力が必要です。



## 地域と一緒に勉強会を終えて

管理者 齋藤美幸

避難訓練は施設にとって大事な訓練の一つです。火災や地震の避難訓練は日中や夜間を想定して毎年行っています。二〇一一年の東日本大震災での地震による津波は想定を遥かに超えて生活をしていた土地にやってきました。海岸線に近い施設ですが、津波がやってくる危機感はそのほど強くなかったと思います。地域の方が電柱に「海抜何メートルです」の情報を知らせてくださり、自治会での避難訓練にも施設も参加させて頂き、津波の時の避難場所の確認を行ってきました。今年あらためて施設で津波発生時の避難訓練を行うにあたり、地域の情報を再確認する必要があります。自治会長さんが施設にいらした時に勉強会の相談をさせて頂いたとき、七月に開催することになりました。この機会にからし種の家の職員に声を掛け、マナの家の職員にも参加を呼び掛け、当日を迎えることになりました。



七月十六日土曜日に勉強会が開催され、多くの地域の方の参加がありました。職員の参加や、利用者様も参加して頂き有意義な時間を過ごすことができました。

新潟市西区役所総務課の田辺様から講義をしていただき、津波の際どこまで浸水するのか、避難ビルはどこにあるのか等カラーで印刷された地図情報を見ながらお話を聞かせて頂くと、施設が建っているこの西区西有明町は海抜十メートルあり、津波が施設に届く可能性が低いとのことでした。また小針十字路まで避難できればより安全であることも再確認できました。今回の勉強会の内容を踏まえて津波に関する避難マニュアルの作成をし、避難計画に基づき訓練を実施していきたいと思っています。

## 「天上の音楽」に参加して

介護職員 中野 容子

六月某日、みんなの家マナに日比野ご夫妻をお迎えしてコンサートが催されました。今年は第二回です。昨年同様の素晴らしい歌声と演奏を心待ちにする反面できるか心配も抱えていました。ですが、始まると美しい歌声とゆったりした音色に皆さん穏やかな表情になり、童謡の時には一緒に歌っていました。赤ちゃんからお寄りまでが共に楽しい時を過ごしました。赤ちゃん不思議な力を体験できた良い一日になりました。今から次回が楽しみです。



毎年恒例の笹団子作りが6月9日に行われました！いつも一緒に作ってくださる地域の皆さま、ありがとうございました。

社会福祉法人からし種の会 資金収支計算書  
自. 2015年4月1日 至. 2016年3月31日

収入の部			
項目	予算額	決算額	差異
1. 事業活動による収入			
介護保険事業収入	84,471,000	84,963,012	△ 492,012
公益事業収入	7,123,000	6,978,930	144,070
経常経費寄附金収入	1,255,000	1,380,000	△ 125,000
受取利息配当金収入		21,791	△ 21,791
雑収入	1,304,000	1,377,971	△ 73,971
事業活動収入計	94,153,000	94,721,704	△ 568,704
2. 施設整備等による収入			
施設整備等による収入計	0	0	0
3. その他の活動による収入			
その他の活動による収入	300,000	300,000	0
その他の活動による収入計	300,000	300,000	0
収入合計 A	94,453,000	95,021,704	△ 568,704
支出の部			
項目	予算額	決算額	差異
1. 事業活動による支出			
人件費支出	66,871,000	62,222,248	4,648,752
事業費支出	10,256,000	7,940,908	2,315,092
事務費支出	8,976,000	7,835,893	1,140,107
支払利息支出	612,000	609,554	2,446
その他の支出	1,186,000	1,121,850	64,150
事業活動支出計	87,901,000	79,730,453	8,170,547
2. 施設整備等による支出			
設備資金借入金元金償還支出	4,296,000	4,296,000	0
固定資産取得支出	100,000		100,000
施設整備等による支出計	4,396,000	4,296,000	100,000
3. その他の活動による支出			
積立資産支出	25,000,000	25,000,000	0
予備費支出	430,000	0	430,000
その他の活動による支出計	25,430,000	25,000,000	430,000
支出合計 B	117,727,000	109,026,453	8,700,547
当期資金収支差額 C=A-B	△ 23,274,000	△ 14,004,749	△ 9,269,251
前期末支払資金残高 D	75,844,741	83,425,954	△ 7,581,213
当期末支払資金残高 E=C+D	52,570,741	69,421,205	△ 16,850,464

8月の金曜日だけが、「みんなの食堂」がオープンしました。子ども一人でも、お友達同士でも、大人一人でも、誰が来てもいい地域に開かれた食堂です。なぜ、8月限定なのか。それは、この食堂が地域に必要であるのか、試験的な段階だからです。この食堂企画は、昨年7月に地域住民対象に開催された講演会(講師はつどい場さくらちゃん理事長



8/5,12,19,26(金)  
**開店しました。**  
朝食 7:30~10:00  
**200円**  
昼食 11:30~14:00  
**300円**



丸尾多重子さんの席で、「子供食堂のことを考えてほしい」という一人の住民の「声」によって始まりました。この企画に賛同したママたちの願いは、子どもたちに、「火の通った『うちのごはん』を食べてほしい」というもので、子供食堂に限定することなく、看板も全人対象とした「みんなの食堂」に、決まりました。

スタッフは、たまり場利用の若いママたち四人で、それぞれがワンディシェフとして活躍してくださっています。お揃いのTシャツを作り、気持ちの一つにして当日を迎えました。すると、開店早々から大賑わい、独り暮らしの男性が

朝食・昼食と食べに来てくれました。小学生もひとり我が家のようにくつろいで昼食を食べている姿に、この食堂の必要性を改めて認識するとともに、若いママスタッフの企画力と団結力は本当にすごいものだと感じ、頑張ってくれた子供たちにも心からお礼を申し上げます。



「わたし(2才)もスタッフ」

編集後記

ようやく皆様のお手元に機関誌「からしだね」26号をお届けできました。お伝えしたいことがいっぱいありますが、なかなか機関誌づくりに取り組めず、遅くなってしまいました。暑い毎日ですが、皆さまもお元気でお過ごしく下さい。また、法人の為に祈りください。

発行先

社会福祉法人からし種の会  
E-mail karashi9845-tane@cyber.ocn.ne.jp  
http://www.karashi-mana.org/

2016年11月3日(木)  
10:00~15:00  
◆会場 マナの家◆

・法人からし種の会と  
近隣福祉団体共催バザー  
・有明地域住民作品展

バザー品物ご提供のお願い

・新品の日用雑貨、食器、調味料、食品など。ご連絡いただければご自宅等に取りに伺います。

福

社

バ

ザ

|

随時、介護相談・入居申込受付中

●認知症グループホーム

・からし種の家(定員9名)  
西区小針西 1-4-22

☎ 025-267-6600【担当:廣井】  
・マナの家(定員9名)

西区西有明町 2-5  
☎ 025-201-7688

空きあり

●共用型デイサービス

・共用型デイサービスマナの家(定員3名) マナの家【担当:斎藤】

●法人自主事業(ホームホスピス)

・マナの家(定員3名)  
☎ 025-201-7688【担当:土田】